

Wako

富士フイルム 和光純薬株式会社

Corporate Profile 2024



次の100年に向けて、 グループパーパスとWako Wayを旗印に、 新たなステージへ



「研究者の方々のお役に立ちたい」という創業の想いをもとに、最先端分野の研究ニーズに応える総合試薬メーカーとして、高品質の製品を開発・製造してきた当社は、2022年6月、創立100周年を迎えました。現在、当社の強みである独自の「技術力」を生かして、「試薬事業」をはじめ「化成品事業」「臨床検査薬事業」の3つの事業を核とし、アカデミア、企業および医療関係の方々の幅広いニーズにお応えしています。

富士フィルムグループでは、人々の健康に関わる「予防」「診断」「治療」の3つの領域でビジネス展開するヘルスケア、さまざまな産業分野で使われる材料・素材の領域でビジネス展開する高機能材料の2分野を成長ドライバーとして位置付けています。当社では、長年かけて培ってきた技術力、国内の強固な生産・販売基盤を生かして、学術研究、産業、医療などの幅広い分野に新たな製品・サービスを提供すると同時に、海外での積極的な事業拡大を通じて、グループのヘルスケア分野・高機能材料分野を担う“グループの中核企業”として事業活動を推進しています。

そのような中、本年1月、富士フィルムグループは創立90周年を迎えました。この節目に当たり、よりよい未来を創るために富士フィルムグループが社会で果たしていくべき役割は何なのか議論を重ね、「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」とのグループパーパスを制定しました。従業員一人ひとりがアスピレーション(志)を持ってその実現を目指していきます。

当社も次の100年に向けて、次の科学のチカラとなる新製品・新技術の開発はもちろんのこと、さらなるグローバル化の推進、マーケティング力の強化、業務のDX化などを積極的に実施し、先端技術分野に携わる企業としてたゆまぬ挑戦を続け、地球上の笑顔の回数を増やしていきたいと思えます。

2024年4月
代表取締役社長 吉田 光一

グループパーパス & Wako Way

富士フィルムグループパーパス

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、世界をひとつずつ変えていきます。

Wako Way

- ミッション** 次の科学のチカラとなり、人々の幸せの源を創造する
- ビジョン** 科学を牽引し、世界中のお客様に感動を提供する会社
- 行動指針** 常になぜの心をもって探求する
一歩先を見て決断し実行する
情熱をもって新しい世界に挑戦する

わたしたちは「研究者の方々のお役に立ちたい」という想いから創業し、長年にわたり、試薬の提供を通じて科学の発展のために邁進してきました。関係してきた多くの人々からの信頼を大切にすること、より良いモノづくりにこだわること、学術研究や産業、医療といった科学に貢献すること、そして、それらに誠実に取り組み続けることが、わたしたちがこれからも大切にしていける価値観です。

Wako Wayとは、これらの価値観を基に策定した、3つの要素からなる道しるべです。3つの要素とは、わたしたちが社会において果たしたい・果たすべき役割である“ミッション”、目指す未来としての“ビジョン”、ミッションを遂行し、ビジョンを達成するために身に付けるべき特性としての“行動指針”です。わたしたちはWako Wayを実践することで成長し、より一層社会に貢献していきます。

社会課題解決への取り組み

CSR方針

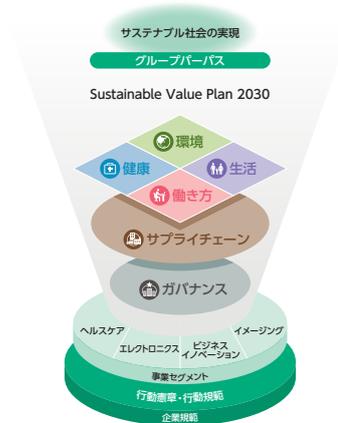
富士フィルムグループの創業の原点といえる写真フィルムは、製造時に「大量の清浄な水と空気」が不可欠であり、撮影前に試すことができない「信頼を買っていただく商品」です。そのため、環境保全、ステークホルダーからの信頼は当社ビジネスにとっての大前提という考え方が、事業活動の根底にあります。これが富士フィルムのCSR(企業の社会的責任)の原点であり、DNAとなっています。

富士フィルムグループのCSRの考え方

富士フィルムグループの考えるCSRとは、誠実かつ公正な事業活動を通じて、社会の持続可能な発展に貢献することです。わたしたちは、経済的・法的責任を果たすことはもとより、①グローバルおよび地域の様々な環境・社会課題を認識し、事業活動を通してその解決に向けた価値を提供していきます。②私たちの事業プロセスが環境・社会に与える影響を常に評価し、その継続的な改善を進めるとともに、社会にポジティブな影響を広めていきます。③ステークホルダーとのコミュニケーションを通して、社会の要請や期待に適切に応えているか、私たちの活動を常に見直していきます。④積極的に情報開示を進め、企業の透明性を高めます。

CSR計画

富士フィルムグループは、持続的に発展していくための経営の根幹をなす計画として、2030年度をゴールとするCSR計画「Sustainable Value Plan(サステナブル・バリュー・プラン)2030(SVP2030)」を策定しています。この計画の下、革新的技術・製品・サービスの提供などで、事業活動を通じた社会課題の解決により一層取り組み、サステナブル社会の実現にさらに貢献する企業を目指しています。



環境

私たちは化学物質を取り扱う企業として、環境保全・安全操業は会社存続に関わる重要課題であると認識し、これらの問題にいち早く取り組んできました。2000年に環境マネジメントシステムISO14001の認証を取得、本社・東京本店と、子会社を含めた8工場で運用しています。また、ダイオキシン測定用試薬や全窒素・全りん自動測定用試薬、グリーンケミストリー商品など、環境関連製品の開発による社会貢献をはじめ、地域住民・近隣企業とともにクリーン活動などの実施にも努めています。私たちは顧客から真に信頼される企業を目指し、地球環境の保全のために真摯な取り組みを続けていきます。



健康

当社は2020年度以降、5年連続で「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されていますが、2024年は「健康経営優良法人ホワイト500」にも認定されました。従業員のヘルスリテラシーの向上と5つの重点領域、生活習慣病、がん、メンタルヘルス、喫煙、長時間労働を中心に取り組みを進めています。これからも従業員一人ひとりが心身ともに健康でいきいきと働き、最高のパフォーマンスを発揮できるよう、健康経営を推進していきます。



働き方

富士フィルムグループでは、「働き方の変革」「多様な社員の能力発揮」「支援の充実」を3つの柱とするWSI活動において、DXを積極的に活用した取り組み(WSI×DX)を進めています。WSI×DXでは、「仕事の質とスピードを上げる」「多様な従業員が活躍できる環境づくりに取り組む」を軸に置き、「チームで高い成果を出し続ける」会社の実現を目指しています。このような方針の下、当社においても、多様な従業員が主体的に、意欲高く働いていけるよう、在宅勤務制度の導入、育児短時間勤務制度・看護休暇制度の拡充等を進めています。



Business Summary

事業概要

富士フィルム和光純薬は総合試薬メーカーとして、先進の技術開発をベースに、さまざまな顧客ニーズに応える高機能・高品質な試薬・化成品・臨床検査薬を提供しています。長年かけて培ってきた国内の強固な研究開発・生産・販売基盤を活用すると同時に、海外への積極的な事業拡大を通じて、富士フィルムグループのヘルスケア事業・高機能材料事業を担う“グループの中核企業”として事業活動を推進しています。

臨床検査薬事業

がんや生活習慣病などの予防や早期発見・治療を実現するために、医療を支えるさまざまな検査薬、検査機器などを提供しています。

生化学分野

- 酵素、脂質
- 含窒素、蛋白、無機物
- 生体色素(ビリルビン)



免疫血清・微生物分野

- 腫瘍マーカー
- ホルモン
- 感染症



臨床検査薬事業

人々の命とQOLを支える
医療に貢献する

病院や健診センターで受ける血液検査などに使われている臨床検査薬。臨床検査薬事業では、がんや生活習慣病の診断に使う検査薬、試薬・装置の一体型システムなど、人々の疾病予防や早期発見・治療のために、医療を支えるさまざまな製品を研究開発・製造しています。検体検査を通じて医師の診断をサポートし、日々進歩し続ける医療の発展・質の向上に貢献します。



化成品事業

安全で快適な暮らしを創造する

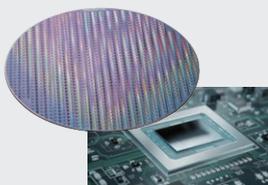
社会や人々の暮らしを支えるさまざまな製品を提供している化成品事業。試薬製造で培った独自の有機合成技術、製造技術、分析技術に基づき、卓越した技術力と最先端設備・システムを備えた体制で、高付加価値の製品開発・受託ビジネスを提案し、安全で快適な社会づくり、暮らしづくりに貢献します。

化成品事業

半導体や日用品、医薬品、化粧品といったさまざまな製品に使用される原料・中間体を提供しています。

半導体

- レジスト材料



重合

- アゾ重合開始剤



医薬・化粧品

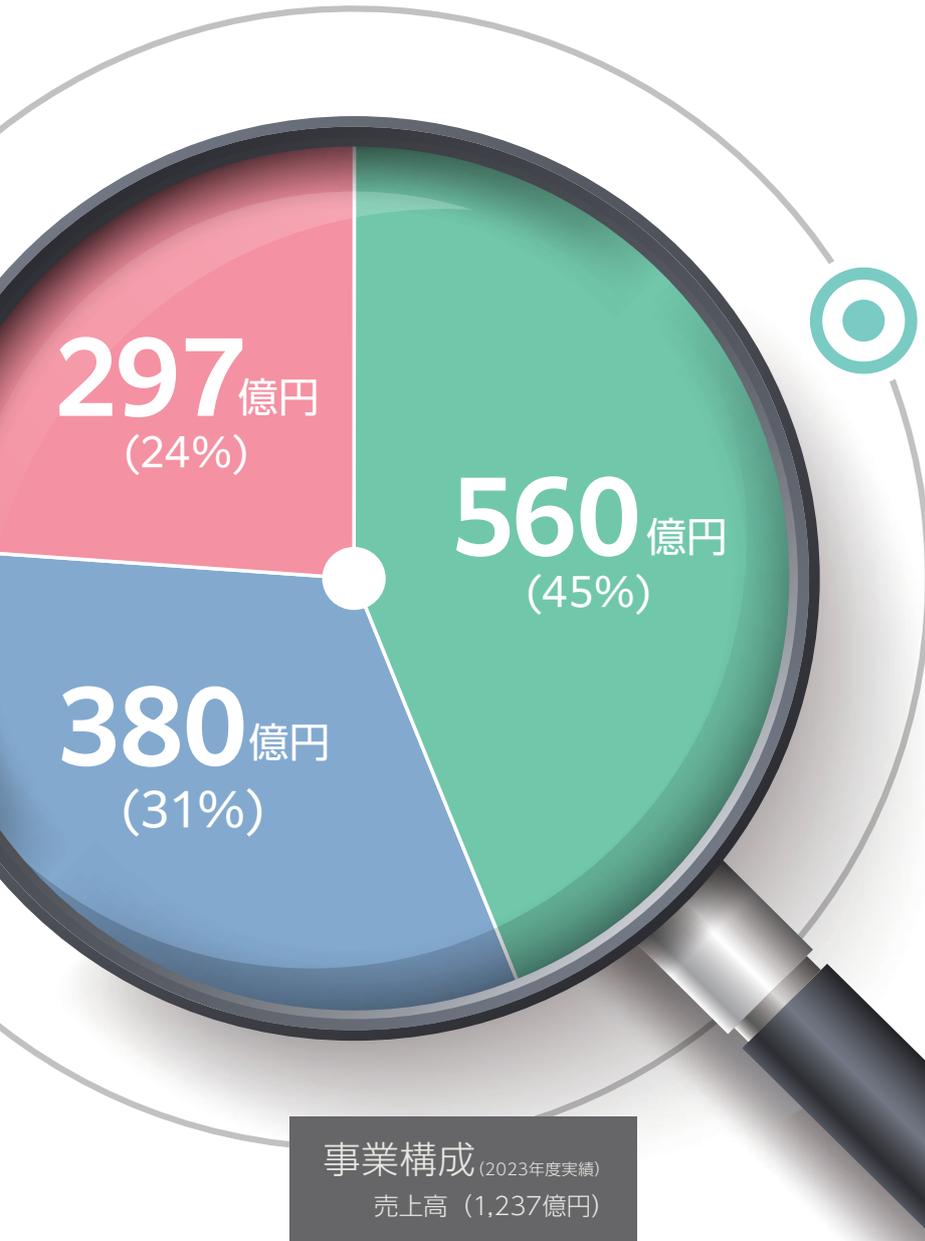
- 医薬中間体



その他

- ディスプレイ材料
- 印刷複写材料





試薬事業

幅広いニーズに応え
研究を支援する

先端技術分野のさまざまな研究ニーズに応える高品位な製品を提供し続けてきた試薬事業。総合研究支援型企业として、ライフサイエンス関連試薬をはじめ、環境分析用試薬、有機合成試薬などの製品群を幅広く取りそろえています。これからも、常に世界の研究動向を見据え、豊富な品ぞろえとスピーディーな供給体制で、信頼される研究支援パートナーとしての役割を担っていきます。

品質保証

各事業部の各分野において、さまざまなマネジメントシステムに取り組み、高度な品質保証体制の下、お客様に選んでいただける商品を安定的に提供しています。

化成品事業

試薬事業

ISO9001、ISO17034、ISO17025、
JCSS認定、JISマーク表示認証、GMP管理

臨床検査薬事業

ISO13485 (医療機器)

試薬事業

試験・研究用途で用いられるケミカル試薬とライフサイエンス試薬を幅広いラインアップで提供しています。

ケミカル分野

- 認証標準物質
- 有機化学



ライフサイエンス分野

- 培地製造
- 抗体作製
- バイオ受託



Base List

拠点一覽

国内拠点

- 本 社：大阪市中央区道修町
東京本店：東京都中央区日本橋本町
営業所：大阪営業所、東京営業所、
北海道営業所(札幌)、東北営業所(仙台)、
筑波営業所、横浜営業所、長野営業所(松本)、
東海営業所(名古屋)、北陸出張所(金沢)、
中国営業所(広島)、九州営業所(福岡)
事業所：戸田事業所、群馬事業所
工場：東京工場(川越)、愛知工場(豊橋)、
大阪工場(尼崎・三重分室)、
播磨工場(赤穂)
連結子会社：国内2社



海外拠点



中国：富士膠片和光純耀(上海)化学有限公司

所在地：中華人民共和国上海市徐匯区肇嘉浜路789号均瑶
國際広場26階C1-C2室
電話番号：+86-21-6407-0511 FAX番号：+86-21-6445-8610

中国：富士膠片和光(香港)有限公司

所在地：Room 1111, 11/F, International Trade Centre,
11-19 Sha Tsui Road, Tsuen Wan, N.T., Hong Kong
電話番号：+852-2799-9019 FAX番号：+852-2799-9808

中国：富士膠片和光純薬製膜材料(無錫)有限公司

所在地：中華人民共和国江蘇省無錫市新呉区錫興路55号
電話番号：+86-510-8532-3030 FAX番号：+86-510-8532-3131

中国：富士膠片和光(広州)貿易有限公司

所在地：Room 3003, 30/F, Dong Shan Plaza 69,
Xian Lie Zhong Road, Guangzhou, 510095, China
電話番号：+86-20-8732-6381(広州) +86-21-6288-4751(上海)
+86-10-6413-6388(北京)

ドイツ：FUJIFILM Wako Chemicals Europe GmbH

所在地：Fuggerstr. 12, 41468 Neuss, Germany
電話番号：+49-2131-311-0 FAX番号：+49-2131-311-000

米 国：FUJIFILM Wako Chemicals U.S.A. Corporation

所在地：1600 Bellwood Road Richmond, VA 23237, U.S.A.
電話番号：+1-804-271-7677 FAX番号：+1-804-271-7791

Company Profile

会社概要

名称	富士フイルム和光純薬株式会社	設立	1922年(大正11年)6月
代表者	代表取締役社長 吉田 光一	事業内容	試薬、化成品、臨床検査薬の製造・販売
本社	〒540-8605 大阪府大阪市中央区道修町3丁目1番2号 TEL：06-6203-3741(代)	資本金	2,339百万円
東京本店	〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番1号 日本橋本町東急ビル TEL：03-3270-8571(代)	連結売上高	1,237億円
		連結社員数	2,418人(2024年3月末現在)

沿革

- 
- 2022年 創立100周年
 - 2019年 アイエスジャパン株式会社(現・戸田事業所)と統合
 - 2018年 富士フイルム和光純薬株式会社へ社名変更
 - 2017年 富士フイルム株式会社の100%子会社となる
 - 2015年 株式会社シバヤギ(現・群馬事業所)を子会社化
 - 2012年 和光純耀(上海)化学有限公司
(現・富士膠片和光純耀(上海)化学有限公司)の設立
 - 2004年 愛知工場竣工
 - 1991年 西部配送センター建設
 - 1989年 東部配送センター建設
 - 1981年 米国和光純薬株式会社
(現・FUJIFILM Wako Chemicals U.S.A. Corporation)の設立
 - 1974年 ドイツ和光純薬有限公司
(現・FUJIFILM Wako Chemicals Europe GmbH)の設立
 - 1972年 本社工舎竣工
 - 1968年 播磨工場竣工
 - 1960年 臨床検査薬事業を開始
 - 1952年 本社を現在地に移転
 - 1950年 化成品事業を開始
 - 1947年 和光純薬工業株式会社へ社名変更
 - 1944年 東京工場竣工
 - 1940年 大阪工場竣工
 - 1922年 武田長兵衛商店(現・武田薬品工業株式会社)の化学薬品部門を分離し、武田化学薬品株式会社として発足

FUJIFILM

富士フイルム 和光純薬株式会社

本社：〒540-8605 大阪府大阪市中央区道修町3丁目1番2号
東京本店：〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2丁目4番1号

当社ホームページ

<https://www.fujifilm.com/ffwk/ja>

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

2024.7 FFBX